

過去50年で最大の人的被害

【人的被害】

死 亡	
25名	
負 傷 者	
重 傷	軽 傷
5名	17名

家屋の倒壊・住宅不安

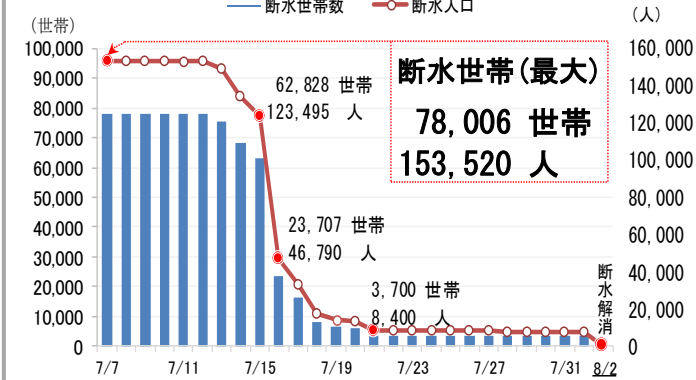


【住宅被害】10/16時点

全 壊	311 件
大規模半壊	129 件
半 壊	741 件
一部損壊	1,191 件
床下浸水	724 件
合 計	3,096 件

※ 数値は現地調査完了分

断水・市民の生活不安



- ▶ 県送水トンネル事故により広域的な断水発生
- ▶ 豪雨により川尻地区で市のポンプ所が損壊

土砂、災害廃棄物等



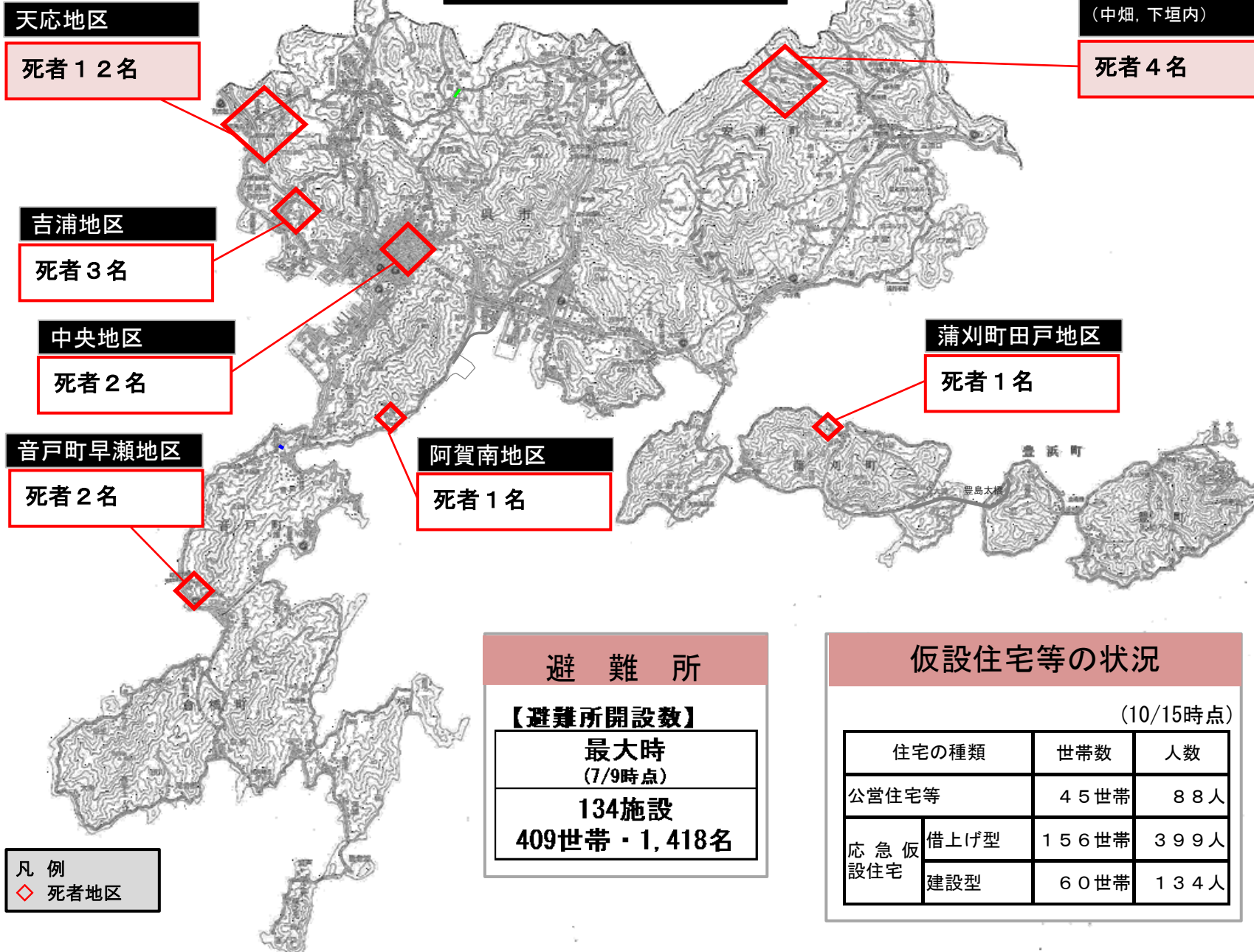
- ▶ 多量の土砂、土石、流木、災害廃棄物が発生

天応地区の状況



- ▶ 河川上流で多数の崩壊
- ▶ 多量の土砂で家が埋まっている
- ▶ 土砂・流木で川が詰まり、道と川の区別がつかない状況

人的被害の発生状況



避難所

【避難所開設数】

最大時 (7/9時点)
134施設 409世帯・1,418名

仮設住宅等の状況

(10/15時点)

住宅の種類	世帯数	人数
公営住宅等	45世帯	88人
応急仮設住宅	借上げ型	156世帯 399人
	建設型	60世帯 134人

安浦地区の状況

- ▶ 市街地のほぼ全域が浸水被害



- ▶ 多数の土砂崩れ・土石流により集落が消失



被災直後の交通網の寸断状況及び復旧状況等

- 坂町水尻付近でJR呉線及び幹線道路が寸断
 - ・広島呉道路（クレアライン）：9月27日15時復旧
 - ・国道31号：7月11日迂回路の整備により仮復旧
9月12日復旧（迂回路の廃止）
 - ・JR呉線：8月20日呉駅～広島 運転再開
9月9日広島駅～広島 運転再開
10月14日広島駅～安芸川尻駅 運転再開
10月28日安芸川尻駅～安浦駅 復旧見込



■呉平谷線被災直後、
一時寸断（事前規制）
事前規制を7月9日
解除

■東広島呉自動車道
被災直後、一時寸断
7月10日復旧

■矢野安浦線各所
が寸断
7月30日仮復旧

■呉環状線が寸断
郷原：8月11日復旧
天応：12月復旧見込

■呉環状線
阿賀～警固屋
が寸断
7月31日復旧

■国道487号
崩土により寸断
7月12日復旧

■国道375号上段原橋全損を始め、各所で寸断
8月18日仮復旧



■国道185号 仁方町川尻越付近で寸断：7月11日仮復旧，8月11日復旧



凡 例	
国 道	—
県 道	—
被災箇所	⊗

(H30. 7. 7時点 道路交通規制状況)

市の施設の被災状況等

(平成30年8月7日現在)

区 分		箇所数	被害額
公共施設		80 件	13 億円
主なもの	学校教育施設（土砂・土石流入・浸水等）	10 件	5 億円
	墓地，斎場施設（法面崩壊等）	11 件	2 億円
	市営住宅（土砂流入等）	10 件	0.1 億円
インフラ		1,068 件	116 億円
主なもの	土木施設（道路・河川埋塞，橋梁破壊等）	371 件	70 億円
	農林施設（法面，土砂堆積等）	341 件	25 億円
	下水道施設（管きょ破断等）	37 件	5 億円
	水道施設（ポンプ所全壊，水源地機能停止等）	275 件	11 億円
災害廃棄物処理			141 億円
合 計			270 億円

